

# 専門調査会及びワーキンググループ

委員会の中に16の専門調査会を設置し専門的な検討を進めています。また、特定の分野について集中的に審査を行う必要がある場合には、ワーキンググループ (WG) を設置します。

## 専門調査会

- 企画等専門調査会
- 動物用医薬品専門調査会
- 新開発食品専門調査会
- 添加物専門調査会
- 器具・容器包装専門調査会
- 肥料・飼料等専門調査会
- 農薬第一専門調査会
- 汚染物質等専門調査会
- 農薬第二専門調査会
- 微生物・ウイルス専門調査会
- 農薬第三専門調査会
- プリオン専門調査会
- 農薬第四専門調査会
- かび毒・自然毒等専門調査会
- 農薬第五専門調査会
- 遺伝子組換え食品等専門調査会

専門調査会やワーキンググループに関する情報は  
こちら



(2024年7月現在)

## ワーキンググループ (WG)

- 栄養成分関連添加物WG
- 評価技術企画WG
- 薬剤耐性菌に関するWG
- 有機フッ素化合物 (PFAS) WG

# 食品健康影響評価実績

食品健康影響評価とは、食品に含まれるハザード (危害要因) の摂取 (ばく露) によるリスク (健康への悪影響が発生する確率と影響の程度) を、ハザードの特性等を考慮しつつ、付随する不確実性を踏まえて科学的に評価することです。食品安全委員会ではリスク管理機関 (厚生労働省、農林水産省など) からの評価要請を受け食品健康影響評価を行ってきました。

2023年度に終了した食品健康影響評価の件数

計 **93** 件 (2023年度までの累計 3279件)

● 添加物	6件	● 農薬	39件
● 動物用医薬品	16件	● 器具・容器包装	3件
● 汚染物質等	1件	● 微生物・ウイルス	1件
● プリオン	2件	● 遺伝子組換え食品等	9件
● 肥料・飼料等	12件	● 薬剤耐性菌	4件

## ◇ 農薬の再評価が進んでいます

2018年に農薬取締法が改正され、農薬の再評価制度が導入されました。2022年度より食品健康影響評価の要請が行われており、最新の科学的知見に基づき、順次、評価を進めています。

2024年9月末時点の進捗状況は右表のとおりです。これまでに、7件の農薬の再評価について評価を終了しました。

農薬の再評価に係る食品健康影響評価の件数

年度	2022	2023	2024*
評価要請	14	7	3
評価終了	—	5	2

※ 2024年9月末時点